

静岡県および御前崎市による津波対策工事ほか追加工事の 点検および確認について(第100回)

2021年2月19日

本日、当社が実施している津波対策工事ほか追加工事(注)について、御前崎市の立ち会いの下、静岡県による点検を受けましたので、お知らせします。

今回は、万が一の配管破断等により建屋内に漏えい水が溜まった場合にも安全上重要な機能を維持するため、漏えいを早期に検知することを目的に新たに設置した「漏えい検知器」の点検を受けました。

静岡県から「漏えい検知器について、現場確認および書類確認をおこなった。本日の点検で、漏えい検知器が現場で確実に設置されていることを確認した。漏えい検知器等の運用に習熟するようお願いする。」との講評をいただきました。

御前崎市から「本日の点検で、漏えい検知器が計画どおり設置されていることを確認した。今後も着実に対策工事を実施するようお願いする。」との講評をいただきました。

また、柳澤 御前崎市長から「100回の現場点検を迎え、これまでの静岡県のご尽力に対し感謝を申し上げます。平成23年の浜岡全号機停止以降、中部電力は総力をあげて安全性向上対策工事を進めてきた。今後も、中部電力一丸となって安全性の向上に取り組んで欲しい。」とのご挨拶をいただき、当社より、今後も更なる安全性の向上、リスクの低減に取り組んでいくことをお約束する旨回答しました。

また、静岡県から「次回の点検は、3月19日に実施予定である。」旨の連絡がありました。



漏えい検知器の点検の様子



検知器の先端に漏えい水が接触することで漏えいを検知し、中央制御室に警報を発報

漏えい検知器の例



点検後のご講評の様子

注 自主的に取り組んできた重大事故対策や、2013年7月に施行された原子力規制委員会の新規規制基準を踏まえ追加した対策工事などのことです。

(これまでにお知らせした県市点検に係る内容は、[こちら](#)でご覧いただけます。)

以上